

# SA吹田通信 第47号

2007年4月

発行 SA吹田事務局 〒565-0831 吹田市五月が丘東6番D503 TEL/FAX 06-6337-1085

## SA吹田 定期総会 開催される

去る4月24日(火)午後1時30分より、吹田市総合福祉会館会議室において、2007年度のSA吹田総会が開催され、19期生の新入会員も出席のもと、新年度がスタートしました。

奥谷副会長の司会により、先ず武内会長の開会の挨拶、次いで議長に小川氏、書記に太治氏を選出し議案審議に入りました。第1、2号議案は2006年度活動報告・会計報告・会計監査報告、第3号議案は会則改定、第4号議案は2007年度の役員選出案、第5、6号議案は2007年度活動方針案・予算案が提出され、審議の上すべて承認され総会を終了しました。

新役員には、佐藤会長はじめ下記の方々を選出されました。

総会后、弁護士、長屋 興氏による「裁判員制度」についての講演があり、新制度の説明と質疑応答がなされました。引き続き歌体操グループのリードで全員で歌を唄い身体をほぐし、盛会裏に全ての日程を終了しました。

### 《 新 役 員 》(敬称略)

会 長	佐藤 宏一(18期 国際)	
副会長	小川 忠夫(18期 世代)	田原美佐穂(19期 国際)
総 務	田尻駿一郎(17期 国際)	村松 章良(18期 福祉)
会 計	加藤 昌子(18期 福祉)	
広 報	松川 裕(17期 地域)	森 孝二(18期 地域)
	藤川 安高(19期 都市)	中込 喜雄(19期 国際)
	松尾 悦子(19期 国際)	
企 画	佐藤百合子(10期 福祉)	丹羽 史朗(12期 国際)
	奥谷 英夫(16期 国際)	八木 秀雄(16期 世代)
	久賀 俊秀(17期 地域)	村上 正(19期 国際)
	沖村 史生(19期 地域)	見並 泰男(19期 地域)
	熊田 真也(18期 世代)	
監 査	岩城 延重(13期 福祉)	奥 正昭(14期 世代)

第1ブロック長	村上 正(兼任)	第2ブロック長	熊田 真也(兼任)
第3ブロック長	沖村 史生(兼任)	第4ブロック長	藤川 保高(兼任)

(退 任) 武内信憲 河内義明 太治利昌 宮浦ミネ子 大野宣子  
中内和恵 大平節子 阿部まり 安藤為彦

## SA吹田 2007年度発足にあたって



会長 佐藤宏一 (SA18期)

私は、18期国際交流を修了しました。  
この一年間は、自分自身のボランティア活動をベースにSA連協の組織に参加してまいりました。

「SA連協」は必要なのか！ 「SA吹田」は何をやるの？ と問い続けてきました。

私は、ボランティア活動が各個人の自主性から生まれるものと確信しています。

自分のボランティア効果を高める為に帰属するグループが必要であると思います。そこにSA吹田の存在価値が生まれるのです。

ボランティア活動を継続していくには、お金よりもまず、人と人との交流、心と心のふれあい、信頼関係の構築が欠かせないことです。

私は、SA吹田の活性化と継続性を維持するために、和と輪 (思いやりとコミュニケーション)

を高める組織をめざしていきます。

シルバーアドバイザー養成講座を修了してのち、「自発性」を出発点に自らの知識や経験を生かしながら、さまざまなボランティア活動を実践して来ています。

私たちの活動も、これからはボランティアのみならずNPOなど、いわゆる市民としての社会に開かれた活動へと幅広いものにしていかなくてはならないと思っています。

私たちはそれぞれ、活動するフィールドは違っても、ボランティアという「志」は、共通のものであります。

私たちは相手の立場に立ち、深い尊敬の意識を持って活動してまいりたいと思います。

私たち自身の身体の健康に留意しながら、日々の活動を続けていきたいと思っています。

## SA吹田 に入会して

田原美佐穂 (SA19期)

2007年3月、小学生のように胸をドキドキさせて手にしたシルバーアドバイザー養成講座の修了証書、そして謎の扉を開けるような気持ちでSA吹田に入会。

小窓からそっと覗くと、有る、有る沢山の活動グループ、その意欲的な活動振りに感激！ まだ何も分からなく、ただ新しい何かが始まる予感と、どんな待受け画面が出るのかなという不安が交差するなか、私たちは 持ち前の明るさでSA吹田の一員として、お互いに切磋琢磨して楽しい仲間作りをしたいと願っています。

講座受講中の地域別交流活動では、吹田地区はA、B、C班に分かれての活動となりました。各班はそれをもとに現在も活動を展開しています。簡単に各班の取組みを紹介します。

**(A班)**

吹田市緑化公園室の協力を得て吹田市内の公園の「樹木札」取り付けに取り組んでいます。

グループ名は「みどりの会」です。公園内の環境美化に努め、樹木の育成も守りながら“この木 何の木、気になる木”や名も知られずひっそり立ち訪れる人々に癒しをあたえている木などにも「樹木札」を取り付けていきます。「樹木札」を取付けるとき新しい命を木に与えたような気持ちで心がワクワクします。メンバー全員が樹木博士になることを目指しています。

**(B班)**

吹田市が提唱している、公園未整備地区の「みんなで育む公園づくり」事業の一環として、千里北公園東部地区の公園づくりに参画し、イベントにも積極的に参加していくことにいたしました。

今後、吹田市立博物館のボランティア活動への参加、大阪YWCA千里デイサービスへの参加も考えています。更に専門コースで習得した技術を活かした活動にも取り組んでいきます。

**(C班)**

吹田市を中心に万博公園周辺に残る貴重な竹林を整備・保全する活動をおこなうと同時に、福祉施設・学校などを通して、竹細工加工など竹文化の普及とその他ボランティア活動を広範に行い、地域の発展に貢献することを目的として活動を始めました。ボランティアグループ“たけとんぼ”を立ち上げての活動です。

**S A吹田 おもちゃづくり 主な参加行事（予定）**

八木秀雄（S A 1 6期）

平素おもちゃづくりについては各グループにおいて、小学校、学童保育、公民館などでご活躍であります。S A吹田として、吹田市や関連団体などの主催のイベントには今後も積極的に参加してまいります。昨年まで参加してきました、多数のスタッフが必要な主な行事をまとめました。

詳細はイベントごとに応援をお願いしますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。

月	日	イベント名（場所）必要スタッフ数など
5月	5	こども野外カーニバル（千里北公園）40名
	12, 13	国際交流プラザ・産業フェア国際プラザ（メシアター）
	27	ボランティアフェスティバル（メシアター）
6月	下旬	府立千里高校 エコ工作・高齢者交流会（千里高校）
7月	月上旬	ホームカミングデー（古江台中学校）
	下旬	夏休みおもちゃ教室（2日間、竹見台児童センター）30名
8月	下旬	夏休み 子どもスペシャル おもちゃづくり（北千里公民館）
9月	9	青少年活動研究会、SSラリー（片山公園）
	16	よっといで祭り（千里南公園）40名
	中旬	市内幼稚園指導員研修（古江台幼稚園）

10月	下旬	花とみどりフェア（江坂公園）
1月	4	吹田市役所新年イベント（市役所）
2月	下旬	昔のくらしと学校 おもちゃづくり（市立博物館）
3月	中旬	いのっこまつり（2日間、亥の子谷コミュニティセンター）

S A吹田 主な活動予定（5月～6月）				
月	日	曜	行 事	場 所
5	1,15	火	「みのりの会」歌体操	10:30~11:30 つくも介護老健
	1,10,15,24,29		グループ「友楽」歌体操	10:30~13:30 吹田市老健施設
	5	土	吹田市こども野外カーニバル	10:00~15:00 千里北公園
	9,23	水	「みのりの会」歌体操	14:00~15:00 特養「いのこの里」
	9,23	水	脳・五感を活性化する「華金塾」	13:30~15:40 未定
	10,17	木	「やさしい日本語」北千里教室	10:00~12:00 北千里公民館
	12	土	吹田市国際交流プラザ	10:00~15:00 メイシアター
	19	土	「竹の子クラブ」発会式	10:00~12:00 山田第3小学校
	21	月	わくわくタイム	14:40~15:40 千里第2小学校
	23	水	「イン吹田」歌体操定例会・練習会	10:00~12:00 総合福祉会館
	27	日	吹田市ボランティアフェスティバル	10:00~15:00 メイシアター
6	2	土	第1回「竹の子クラブ」	10:30~12:00 山田第3小学校
	5,19	火	「みのりの会」歌体操	10:30~11:30 つくも介護老健
	5,14,19,28		グループ「友楽」歌体操	10:30~13:30 吹田市老健施設
	6,20	水	「みのりの会」歌体操	14:00~15:00 特養「いのこの里」
	6,20	水	脳・五感を活性化する「華金塾」	13:30~15:40 未定
	9	土	おもちゃづくり市民塾	10:00~12:00 北千里公民館
	7,21	木	「やさしい日本語」北千里教室	10:00~12:00 北千里公民館
	25	月	わくわくタイム	14:40~15:40 千里第2小学校
	27	水	「イン吹田」歌体操定例会・練習会	10:00~12:00 総合福祉会館

【編集後記】 今月号は広報旧役員が担当しました。この一年間、出来栄えや十分な広報の役目を果たせたか疑問符がつきますが、なんとか毎月欠かさずに発行でき最低の役目は果たせたかと思っております。これも会員皆さんの投稿ほか力強いバックアップがあってこそ出来たことであり担当者一同感謝しております。有難うございました。

次号から19期新入会員も含めた、新しいメンバーが編集を担当しますので、投稿や情報提供など一層の力添えよろしくお願いたします。

また、毎月、「S A吹田通信」の戸別配達をしていただきました会員の皆様、この号が最後となります。ご協力有難うございました。 （村松記）